

墳の中の手記



[墳の中の手記_下载链接1](#)

著者:ジェラルド カーシュ

出版者:晶文社

出版时间:2002-7-1

装帧:精装

isbn:9784794927323

アンブローズ・ビアスの失踪という米文学史上最大の謎を題材に、不気味なファンタジーを創造し、MWA(アメリカ探偵作家クラブ)賞を受賞した名作「壘の中の手記」をはじめ、無人島で発見された白骨に秘められた哀しくも恐ろしい愛の物語「豚の島の女王」、贈られた者に災厄をもたらす呪いの指輪をめぐる逸話「破滅の種子」、18世紀英国の漁師の網にかかった極彩色の怪物の途方もない物語「ブライトンの怪物」、戦争を糧に強大な力を獲得していく死の商人サーレクの奇怪な生涯を描いた力作「死こそわが同志」他、思わず「そんなバカな!」と叫びたくなる、異色作家カーシュの奇想とねじれたユーモアにみちた傑作集。

作者介绍:

ロンドン南西部の町デントン出身。パン屋、用心棒、レスラー、事務員、バーテンダーなどさまざまな職業を経験したのち、1934年に長篇Jews without Jehovahでデビュー。Night and the City（1938年）は好評を呼び、二度映画化[1]されている。第2次世界大戦では軍務につき、兵士をテーマにした書籍を数作執筆し、従軍記者として働いた。戦後はニューヨークやカナダに住み、短篇「壘の中の手記」でエドガー賞短編部門を受賞。ミステリ、ファンタジー、SF、ホラーなど幅広い作風で知られ、現在では短篇小説が評価されている。作中、ときに聞き手としてカーシュ自身が登場する。

- 目录:『豚の島の女王』
『黄金の河』
『ねじくれた骨』
『骨のない人間』
『壘の中の手記』
『ブライトンの悪魔』
『破滅の種子』
『カームジンと『ハムレット』の台本』
『刺繍針』
『時計収集家の王』
『狂える花』
『死こそわが同志』
..... [\(收起\)](#)

[壘の中の手記_ダウンロード1](#)

标签

密室推理

评论

标题作品《瓶中手稿》是我读过最棒的秘境作品之一。这部小说极大地搅动了读者的官能，而就在诸位有飘飘欲仙之感的时候，马上会发现最令人错愕的真相！不愧是1958年MWA最佳短篇作品！另外，北村薰称为“宛如奇迹般诞生的作品”的《猪岛的女王》，也令人印象深刻。

[壘の中の手記_下载链接1](#)

书评

我与这位神奇的杰拉尔德·克什（Gerald Kersh）先生的邂逅，源于在日本图书馆所借的《早川推理杂志700（海外篇）》中所刊登的他的《Who wants a liver-coloured cat?》这个短篇令我印象特别深刻的就是，此人的故事代入感非常强。本身是一个简单的、类似于怪谈的故事，读来令...

[壘の中の手記_下载链接1](#)